

# 令和6年度 学校評価

宮崎県立都城農業高等学校

基本方針(所属の目標)	年間指導目標 (期待される役割)	自己評価	学校関係者評価	評価と今後に向けて
【教務部】 自ら学ぼうとする意欲と態度を身につけさせ、新しい情報や技術・知識に対応し、有効に活用できる人材の育成を図る。	成績不振を理由とする原級留置を無くし、生徒全員の進級・卒業を目指す。  本校の教育内容や教育成果の積極的な地域への発信を行う。  基礎学力向上や専門力向上を目指す教育を推進する。  都城農業高校生としての態度づくりを推進する。	B	A	・高校説明会や体験入学、学力向上など積極的な取り組みが認められる。 ・学校行事等が精選されているとともに、ひとつひとつ行事が充実していた。 ・当校の入試倍率を見ると、先生方の頑張りの成果が見受けられる。 ・外部から学校に訪れた者に対する生徒達の挨拶は素晴らしい。
【生徒総合支援部】 自己指導能力を高め、生徒学校活動で輝くことができるよう、自ら行動し積極的に学校行事に関わっていくように指導し、「知・徳・体」調和の取れた生徒の育成に努める。	生徒が企画・運営する活動を増やし、問題点の抽出と改善策の立案、実行を行わせる。  特別指導・生活改善指導カード・携帯電話指導カード指導対象者の減少と指導の見直しを行う。  生徒が安心安全に学校生活を送ることができるように支援を行う。	B	A	・生活改善のための事前指導や、生徒会活動及び部活動の充実など積極的な取り組みが認められる。 ・校則等も時代にあったものになっていると感じる。 ・部活動の成績は素晴らしい。指導されている先生方に敬意を表したい。 ・生徒の自主性と企画能力を付けさせるために、生徒に経験を積ませる試みは良いと思う。
【進路指導部】 確かに堅実な人生設計を描き、自己の適性に応じて能力を十分に發揮できる職業人として生きる力をつけさせ、経済的な自立を図れるよう的確な進路指導に努める。	進路決定100%  面接・小論文の徹底  早期の希望進路決定	B	A	・地域と連携した農業教育及びキャリアプログラムの充実、又、農業クラブ活動の実績など多くの成果が認められる。 ・県内への就職も多く良い。進学している生徒もあり、努力の成果が見られる。 ・就職率、進学率の高さ。先生方、生徒達の頑張りの結果だと思う。 ・高校、大学、県との連携による人材育成について、今後、共に検討を進めるため協議させていただきたい。
【農務部】 農業に関する施策を基調とした、高い専門性に立脚した特色ある教育活動を開拓しながら、「農業教育基幹校」として宮崎の農業と関連産業を支える人材を育成する。	地域社会と連携した農業教育の推進  キャリア教育の推進  農業クラブ活動の充実と資格取得の推進  DXを活用したスマート農業教育の実践、「GAP」、「HACCP」教育の充実	B	A	・生き物の飼育を通して、生命の尊さについて考える良い機会になっている。 ・デュアルシステムは、現場を体験することができる貴重な取組。デュアルシステム後に、生徒と受入業者と意見交換して、良かった点、悪かった点等の共有が必要だと思う。 ・デュアルシステムの受入先の選定は、市町、県等と協議するなど、地域の情報を入手してから決めた方が良いと思う。

※ 評価は、4段階評価(A(大変良い)>B>C>D(努力・改善が必要))